

製品名: TCP1 α /CCTA ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87315**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:100-1:200,IP 1:50-1:100
分子量	Calculated MW:60 kDa; Observed MW:60 kDa

抗原情報

遺伝子名	TCP1 alpha/CCTA
別名	CCT1; CCTa; D6S230E; CCT-alpha; TCP-1-alpha
遺伝子 ID	6950
SwissProt ID	P17987
免疫原	ヒト TCP1 アルファ/CCTA の合成ペプチド

背景

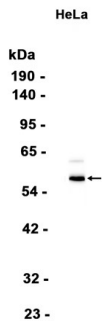
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、TCP1 リング複合体（TRiC）としても知られるシャペロニン含有 TCP1 複合体

(CCT) を構成する分子シャペロンです。この複合体は、2つの同一のリングが積み重なった構造で、それぞれに8種類の異なるタンパク質が含まれています。未折り畳み状態のポリペプチドは複合体の中央の空洞に入り、ATP 依存的に折り畳まれます。この複合体は、アクチンやチューブリンを含む様々なタンパク質を折り畳みます。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする代替転写スプライスバリエントが同定されています。さらに、この遺伝子に由来すると思われる3つの偽遺伝子が見つっています。
[RefSeq 提供、2010年6月]

研究分野

-

画像データ



TCP1 アルファ/CCTA ウサギモノクローナル抗体を 1:10000 で使用して HeLa 細胞抽出物のウェスタン プロット分析を行いました。